

令和 8 年度 朝来市事務事業評価【外部評価】実施の流れ

1. 実施目的及び実施方法

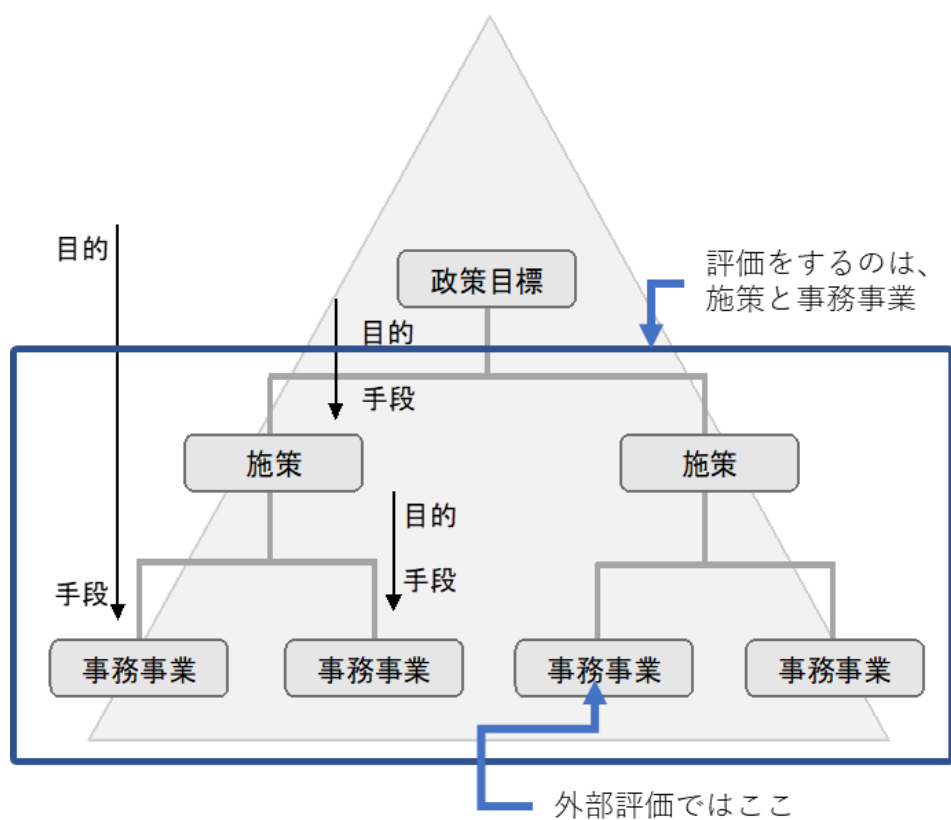
(1) 外部評価の定義とその目的

外部評価とは、行政外部から迎える評価者（外部評価委員）によって、自治体の施策・事業に関する必要性や有効性、効率性・実施主体の妥当性などを議論・検討し、施策・事務事業の見直し・改善に導く評価を行うこと

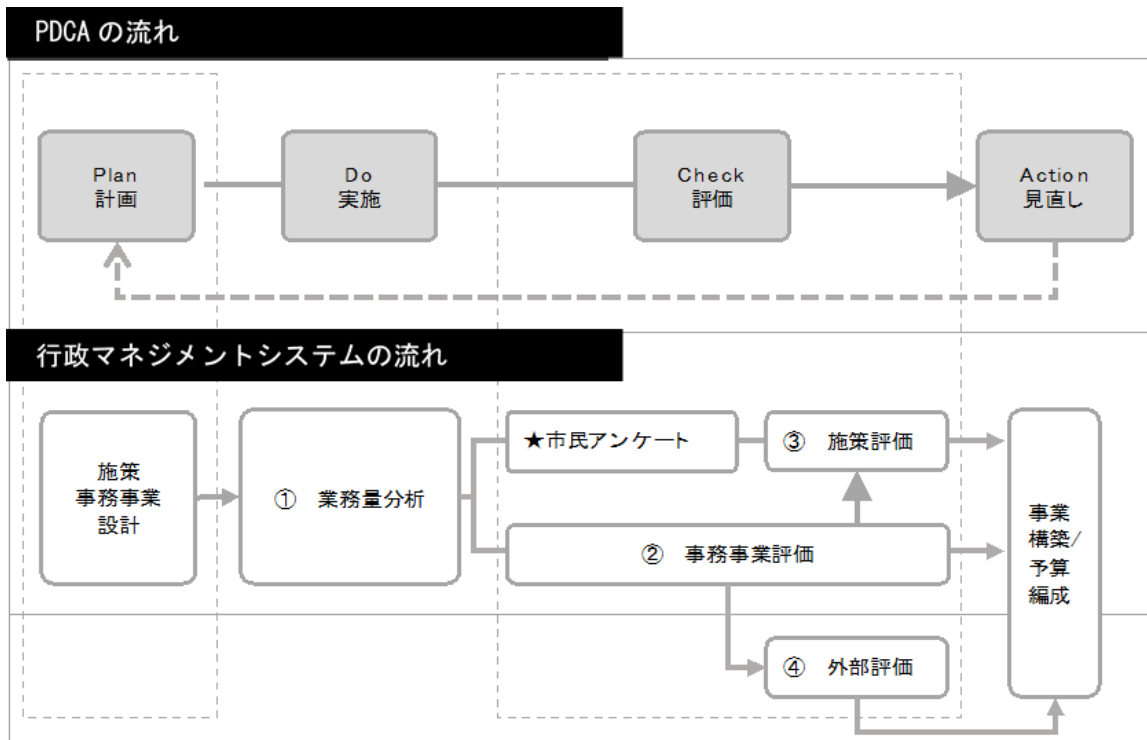
(2) 外部評価の位置付け

外部評価の結果は、予算編成・事業編成を行う際の判断材料の一つと位置付け、最終的な判断は行政の責任において行うこととします。

①政策目標→事務事業の関係



②全体の流れ



(3) 実施方法

【外部評価対象事業数及び進行の流れ】

◇ 4 事業（2 グループに分かれて 2 日間実施）

【1 日目】 7 月 17 日（金）

13：30～13：45 開会、評価の流れ等説明

13：45～14：20 外部評価【A 健幸づくり／B ケーブルテレビ】

※ 担当課説明(10 分)～質疑(15 分)～(担当課退席)～議論(10 分)

14：20～14：30 振り返り、講評

【2 日目】 8 月 7 日（金）

13：30～13：35 開会、評価の流れ等再度説明

13：35～14：10 外部評価【A 芸術文化／B 都市政策】

※ 担当課説明(10 分)～質疑(15 分)～(担当課退席)～議論(10 分)

14：10～14：20 振り返り、講評

（４）グループ分け

Aグループ：足立委員、倉田委員、小坂委員、下口委員、横内委員

Bグループ：小田委員、北見委員、上垣委員、山下委員、中尾委員

【評価の流れ】

（０）事前送付

検討していただく事業に係る各種資料の送付

（１）事業内容の説明（10分）

送付した資料に基づき、事業担当課からの事業説明。

（２）評価者からの質問（15分）

各担当課への評価者からの質問。

（３）進行役が中心となつての議論の実施（10分）

① 委員からのコメント・議論

② 議論を総括し、進行役を中心として判定（廃止～拡充まで）

※各担当課は退席

【評価の進め方】

◇各グループで1つの評価結果をまとめていただきます。

（ただし、必要に応じて、少数意見を併記することも可能とします。）

【意見のとりまとめ】

◇各グループの評価者全員が意見を表明した後に、進行役を中心にして評価をとりまとめます。

2. 対象事業及び評価の進め方

（１）対象事業選定の考え方

【選定する事業（選定基準）】

以下の事業のうち、総合政策課が選定したもの

○令和7年度の行政評価において「拡充」「改善」となった事業

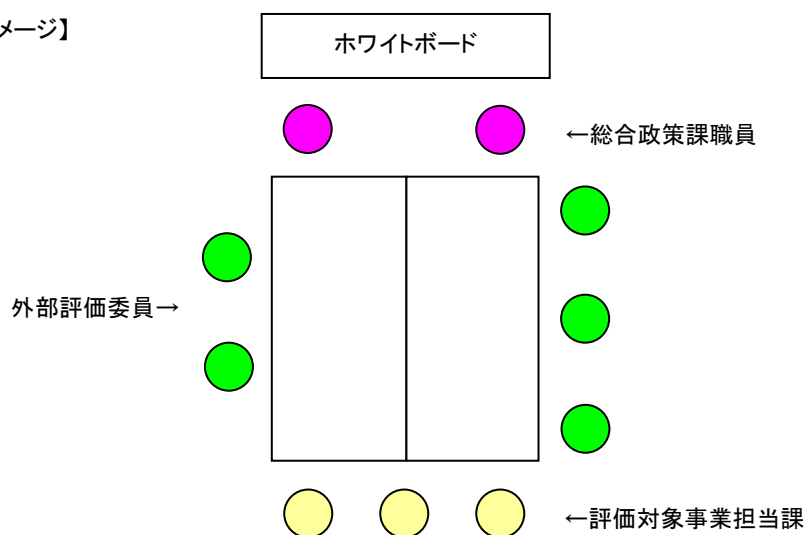
○外部評価により方向性を確認したい事業

(2) 評価基準

★以下の5つの選択肢から評価をお願いします。

評価	評価基準
1. 拡充	事業規模の拡充・強化の方向で事業を実施していくもの。
2. 継続	現状水準、同様の規模・内容で事業を実施していくもの。
3. 改善	現状の仕組を前提としつつ、実施方法の見直し等により、改善を図るべきもの。
4. 縮小・ 段階的廃止	事業の実施形態の変更や一部廃止など事業を縮小しながらも実施していくもの、または数年をかけて廃止にむけて取り組むもの。 ※上記どちらの方向性で見直しを図るかを明示すること。
5. 廃止	事業を廃止するもの。全く異なる形態で事業を再構築する場合も含む。

【机等配置イメージ】



(3) 評価の視点

視点	チェックのポイント
1. 事業実施の意義 ～なぜ、事業を行うのか？	① 実施の理由は明確か ② 事業実施の必要性は在るのか ③ 事業は他の事業よりも先んじて行うべきか ④ 事業で改善すべき内容は明確か
2. 事業の内容・手法 ～どのように事業を実施すべきなのか？	① 設定された目標は妥当か ② 事業のやり方で最小限の資源で最大限の効果がでるか ③ 事業は民間で代替できないか ④ 事業規模は縮小すべきか/拡大すべきか
3. 事業の効果・課題 ～事業実施の効果は得られているのか？	① 成果が上がっているのか ② 設定した課題を解決できたか ③ 新しい課題はないか

令和	8	年度	区 分	予算 決算	1	行政マネジメント事務事業シート (R 7 決算)	作成・更新日 令和 8 年 6 月 12 日	主要 創生
----	---	----	--------	----------	---	----------------------------	---------------------------	----------

事務事業名	地域医療対策推進事業	担当部課	健康福祉部 健康づくり推進課
予算コード	04 - 01 - 01 - 05 - 01	担当者名	垣尾 香織、岡田 美由紀
総合 計画 体系	4.誰もが居場所や役割を持ち、健康で心豊かな暮らしを実感できる 22.安心できる医療体制の充実	事業開始年度 H 22	評価区分 評価 事業種別 ソフト事業

1. 事務事業の目的、成果、手段

目的 (何のために)	・朝来市の地域医療の充実に向け、公立豊岡病院組合との連携を強化し公立朝来医療センターの医師確保を推進する ・兵庫県、公立朝来医療センター、市内の開業医との連携を強化し、安心できる医療や医療情報の提供ができる環境づくりを推進する
成果 (どのような成果を期待するか)	・地域医療体制の充実を図ることで市民の医療に対する安心感が高まる ・市民が医療機関を適正に利用することにつながる
手段 (どんな事業を実施して)	【事業内容】 ○医師確保(招聘)活動:研修医、大学、医学生等への医師招聘活動 ○医師確保対策事業 ・朝来市医師確保対策就業支度金貸与 【指導医1名】新たに朝来医療センターに勤務する医師に対し就業支度金を貸与(貸与期間:3年間) - 認定資格:指導医…900万円以内、専門医…600万円以内、認定資格のない医師…300万円以内 ・朝来市医師就労支援対策交付金 【該当2件】朝来医療センターに勤務する医師で構成された団体への支援 【該当なし】市内開業医(歯科医師を除く)で組織された団体の組織強化と活動のための支援、医師確保対策就業支度金貸与を受けた医師が勤務する団体に当該医師が就業している期間に資質向上を目的として行った研修・研究等に要した費用(1年度あたり、1人上限 100万円)に対しその費用の1/2を追加交付 ○電話相談窓口の運営 ・あさご健康医療電話相談ダイヤル24:977件 ・但馬地域小児救急医療電話相談(但馬3市2町):21件(総相談件数87件) ・救急安心センターひょうご(＃7119):234件(令和7年7月から県下一斉に開始) ※特別交付税措置1/2、県市町振興支援交付金1/4に充当

2. 事業費等の推移(単位:円)

節区分	説明等	R7	R6	R5	R7-R6比較
7.報償費	連携会議謝礼、事業協力者謝礼	66,146	70,940	51,460	▲ 4,794
10.需用費	電話相談周知チラシ印刷代、地域医療夏季セミナー食糧費	114,650			114,650
12.委託料	あさご健康医療電話相談ダイヤル24委託料	4,690,125	4,690,125	4,690,125	
18.負担金補助及び交付金	但馬地域小児救急医療電話相談負担金、救急安心センターひょうご(＃7119)事業負担金、医師就労支援対策交付金	1,629,240	391,750	391,750	1,237,490
20.貸付金	医師就業支度金貸付金	9,000,000			9,000,000
事業費総額…①		15,500,161	5,152,815	5,133,335	10,347,346
財源内訳	特定 財源	国庫支出金		1,173,000	
		県支出金	2,207,000	2,114,000	93,000
		地方債…②			
		その他…③	13,000,000	400,000	10,000,000
	一般財源…④	293,161	38,815	43,335	254,346

3. 一般財源等の額及び割合

一般財源等の額…②+③+④	13,293,161	3,038,815	443,335
事業費総額に占める一般財源等の割合…(②+③+④)/①	85.8%	59.0%	8.6%

4. 受益者あたりの事業費

受益者	電話相談利用者数(延べ)	単位	R7	R6	R5	R7-R6比較
区分	受益者数・・・⑤	件	1,232	1,140	1,173	92
	受益者あたりの事業費・・・①/⑤	円	12,581	4,520	4,376	8,061

5. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	R7	R6	R5	R4
あさご健康医療電話相談ダイヤル24等周知件数(個別周知件数)	件	23,644	11,526	11,604	11,646
≪変化の理由≫ 母子健康手帳交付時、乳幼児健診、予防接種の案内通知時や各戸への健診申込書の発送の際に周知チラシを配布している。市ホームページやCATV放送の文字放送等であさご健康医療電話相談ダイヤルや但馬地域小児救急医療電話相談について常時周知している。また令和7年7月から開始となった救急安心センターひょうご(＃7119)の周知のため、市内全戸や医療機関、薬局、学校等などの公的機関にチラシを配布したため、個別周知数が一時的に増加した。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	R7	R6	R5	R4
あさご健康医療電話相談ダイヤル24利用者数	件	977	1,112	1,181	1,646
但馬地域小児救急医療電話相談利用者数	件	21	28	55	23
≪変化の理由≫ 令和7年7月から始まった救急安心センターひょうご(＃7119)とあさご健康医療電話相談ダイヤル24は、重複しているサービス(受診可能な医療機関の案内)があるため、あさご健康医療電話相談ダイヤル24利用者件数に変化があった可能性がある。					

6. 今後の方向等

現在認識している課題	・令和7年度は、指導医1名の実績があったが、限定的である。全国的な医師の地域偏在・診療科偏在による医師不足が続く中、安定した地域医療体制を維持することが課題である。また医療資源の効率的活用が求められる中、市民の医療受診行動の適正化も重要である。 ・あさご健康医療電話相談ダイヤル24と救急安心センターひょうご(＃7119)が重複しているサービス(受診可能な医療機関の案内)があり、事業の整理が必要である。
今後の方向、見通し、対応策等	・公立豊岡病院組合、朝来市医師会と連携しながら、医師確保に努めるとともに医師の負担を軽減するため、LINE等のSNS等を活用し、健康医療電話相談の周知を継続して行う。 ・あさご健康医療電話相談ダイヤル24は、「受診可能な医療機関の案内」サービスを削除し、メンタルヘルスや身体の悩みなどの健康相談に対応する役割にシフトする。

7. 一次評価

評価	評価理由
拡充	・朝来市医師確保対策就業支度金貸与等の各種支援制度の充実を図り、朝来医療センターの医師確保対策に継続して取り組む必要がある。 ・あさご健康医療電話相談ダイヤル24は、「受診可能な医療機関の案内」サービスを削除し、事業を縮小して継続する。
継続	
改善	
○ 縮小・段階的廃止	
廃止	

8. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続	
改善	
縮小・段階的廃止	
廃止	

9. 二次評価

評価	評価理由
拡充	
継続	
改善	
縮小・段階的廃止	
廃止	

令和	8	年度	区 分	予算 決算	1	行政マネジメント事務事業シート (R	7	決算	)	作成・更新日	令和	8	年	6	月	12	日	主要	1	創生
----	---	----	--------	----------	---	---------------------	---	----	---	--------	----	---	---	---	---	----	---	----	---	----

事務事業名		ケーブルテレビ運営管理事業			担当部課	市民生活部 ケーブルテレビセンター	
予算コード		02 - 01 - 10 - 02 - 01			担当者名		
総合計画体系	6.まちの動きや情報を戦略的につなぎ、効率的で健全な行政運営を実現する				事業開始年度	評価区分	評価
	32.伝えたいところに届く戦略的な情報発信の推進				H 17	事業種別	ソフト事業

1.事務事業の目的、成果、手段

目的 (何のために)	・ケーブルテレビ施設を良好に維持管理し、加入者に安定したサービスを提供する ・ケーブルテレビの自主放送や音声告知放送を利用した教育、福祉、産業、観光等の事業や地域の活性化、若者の定住促進等につながる情報発信の充実を図る
成果 (どのような成果を期待するか)	・自主放送や音声告知放送、データ放送による市政や各種情報の周知率の拡大 ・Jアラートや自然災害等緊急速報の周知による情報の把握 ・インターネット事業者への設備貸出による高速インターネットサービス利用
手段 (どんな事業を実施して)	○ニュース・お知らせ番組の総制作本数 709本 - 主なカテゴリー別制作本数 ・市からの情報発信として各課と連携したお知らせ番組や、ニュース番組 126本 ・地域活性化の一つとなる地域行事や祭、文化を紹介する番組(岩津ねぎ関連含む) 42本 ・地域協働の取り組み紹介として地域自治協議会活動のニュースやお知らせ番組 25本 ・学校行事や特色のある授業などのニュース番組 117本 ○音声告知放送による行政区内連絡、エリア内告知 ○文字放送による視覚での情報提供 ○各種団体への負担金 - 日本ケーブルテレビ連盟年会費 271,000円 - 日本ケーブルテレビ連盟近畿支部 52,000円 - 日本ケーブルテレビ連盟システム負担金 158,400円
【事業内容】	

2. 事業費等の推移(単位:円)

節区分		説明等	R7	R6	R5	R7-R6比較
1.報酬		会計年度任用職員、放送番組審査会	17,574,954	16,568,621	15,392,655	1,006,333
3.職員手当等		会計年度任用職員期末手当、勤勉手当	6,720,944	6,232,387	3,120,756	488,557
7.報償費		アナウンサー謝礼	868,683	968,916	818,569	▲ 100,233
8.旅費		会計年度任用職員通勤費用弁償	315,600	310,800	310,800	4,800
10.需用費		消耗品、燃料、印刷、修繕、電気、水道	13,088,660	14,668,497	10,504,448	▲ 1,579,837
11.役務費		電話、郵便、保険、手数料、施設保守点検料	30,682,576	31,292,278	31,129,975	▲ 609,702
12.委託料		局舎警備、番組外注制作費等	15,363,480	14,465,770	17,457,000	897,710
13.使用料及び賃借料		STBリース料、土地使用料、放送受信料等	43,278,268	44,149,857	44,595,486	▲ 871,589
17.備品購入費		音声告知放送受信機購入費	2,475,000	3,501,960	1,436,710	▲ 1,026,960
18.負担金補助及び交付金		各種連盟等（日本、近畿、兵庫県）負担金	481,400	479,400	480,400	2,000
24.積立金		施設維持基金積立金	20,000,000	20,000,000	20,000,000	
26.公課費		自動車重量税		19,800		▲ 19,800
事業費総額・・・①			150,849,565	152,658,286	145,246,799	▲ 1,808,721
財源内訳	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債・・・②				
		その他・・・③	ケーブルテレビ使用料 他	150,849,565	152,658,286	145,246,799
	一般財源・・・④					

3. 一般財源等の額及び割合

一般財源等の額・・・②+③+④	150,849,565	152,658,286	145,246,799
事業費総額に占める一般財源等の割合・・・(②+③+④)/①	100.0%	100.0%	100.0%

4. 受益者あたりの事業費

受益者	ケーブルテレビ利用者(住宅系加入世帯比率から算出)	単位	R7	R6	R5	R7-R6比較
区分	受益者数・・・⑤	人	22,080	22,543	23,034	▲ 463
	受益者あたりの事業費・・・①/⑤	円	6,832	6,772	6,306	60

5. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	R7	R6	R5	R4
自主放送番組の制作本数	本	709	713	707	655
≪変化の理由≫ 市内でのイベントや地域の行事等をはじめ、入学式・卒業式等の学校行事への取材等を行った。制作本数は昨年度と同程度となった。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	R7	R6	R5	R4
ケーブルテレビ加入件数	件	13,677	13,640	13,590	13,525
≪変化の理由≫ 和田山・山東地域での宅地分譲による新築家屋の加入が増加するなど、休止・脱退件数を上回ったことにより、加入件数が増加している。また、企業でのネット利用による回線増設が増えており、加入件数の増加の一因となっている。					

6. 今後の方向等

現在認識している課題	○朝来市でBS、CS4K、8K放送に対応するためには、BS、CS4K、8K放送を制御するためのA-CASシステムへの移行および放送方式の変更を研究する必要がある。 ○若者定住の為、若年層に興味をもってもらえる番組を充実させる必要がある。 ○市の自主財源の確保及び地域経済の活性化に寄与することを目的に令和7年10月から広告掲載を行っているが、現在の広告掲載件数は1件となっている。 ○職員の高齢化が進行中。管理業務や番組制作業務を安定的に継続するするため、民間委託も含めた効率的な運営方法について検討する必要がある。
今後の方向、見通し、対応策等	○CS放送のA-CASシステム導入については、令和10年度よりSTBをA-CAS対応にリース替えし、令和11年度に局舎設備をA-CASシステム対応機器に更新する計画としている。設備更新費用として5～6千万円(令和11年度予定)、STBリース(令和10年度からリース開始。各家庭に貸し出ししている分は徐々に交換)。それまでの間は現設備にかかる必要最低限の更新に留める。 ○令和5年度に実施した市民アンケートの意見を反映し、令和7年度から若者を対象とした新たな番組を制作しているが、番組を見てもらうための広報の方法について検討していく。 ○ケーブルテレビでの広告について、広告掲載件数が少ないため、広告掲載についての広報を引き続き行っていく。 ○関係課の意図を理解し、市からの情報を分かりやすく市民に伝えていく。 ○事業の民間委託・指定管理について、先進地事例や事業者からのプレゼンを参考に研究を行う。

7. 一次評価

評価	評価理由
☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小・段階的廃止 ☐ 廃止	テレビの難視聴対策、情報通信の地域格差是正、情報伝達(音声告知放送、自主放送番組等)のために必要な事業である。 ケーブルテレビ一般世帯加入率(加入中の世帯数/住基世帯数 令和8年3月末現在)81.6%(休止中および2号減免世帯【市外居住者】を除いた加入率)

8. 外部評価

評価	評価理由
☐ 拡充 ☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小・段階的廃止 ☐ 廃止	

9. 二次評価

評価	評価理由
☐ 拡充 ☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小・段階的廃止 ☐ 廃止	

令和	8	年度	区分	予算 決算	1	行政マネジメント事務事業シート (R	7	決算	)	作成・更新日	令和	8	年	6	月	12	日	主要	1	創生	
----	---	----	----	----------	---	--------------------	---	----	---	--------	----	---	---	---	---	----	---	----	---	----	--

事務事業名		文化会館自主文化事業		担当部課	まちづくり協働部 芸術文化課	
予算コード		10 - 04 - 05 - 01 - 01		担当者名	足立 尚幸、吉田 裕之	
総合 計画 体系	1.「やりたい」につながる多様な学びで、未来をつくる「人」を育む			事業開始年度	評価区分	評価
	6.豊かな心を育む芸術文化の振興			H 17	事業種別	ソフト事業

1.事務事業の目的、成果、手段

目的 (何のために)	市民の芸術・文化の振興と心豊かなまちづくりに寄与するとともに、朝来市を全国に向けアピールしていく。
成果 (どのような成果を期待するか)	・朝来市文化会館で自主文化事業を実施することにより、市民が優れた芸術文化に触れる機会となる。 ・自主文化事業の実施により市民の文化意識の醸成に繋がる。
手段 (どんな事業を実施して) 【事業内容】	令和7年度実施事業 ・第10回朝来市合唱祭(朝来市コーラス連盟)(市共催事業) ・1966カルテット ザ・ビートルズクラシックス(クラシック) ・2人のビッグショー(ものまね) ・矢井田瞳「おやことやいこ」(POP) ・第21回ASAGO芸術音楽祭2025(クラシック、5日間) ・かりゆし58 Special LIVE in 朝来(POP) ・ダ・カーポ コンサート2025(フォーク) ・加藤登紀子60周年記念コンサート2025(歌謡曲) ・兵庫稲美少年少女合唱団Special Concert in 生野2026(市共催事業) ・ジュビターホールリニューアル記念 陸上自衛隊コンサート

2. 事業費等の推移(単位:円)

節区分		説明等	R7	R6	R5	R7-R6比較
7.報償費		ボランティアスタッフ費用、現地オペレーター費用	571,000	402,000	831,600	169,000
10.需用費		看板代、ポスター・チラシ・チケット印刷費等	3,099,053	2,132,903	2,635,387	966,150
11.役務費		ピアノ調律料、新聞折込料、楽器搬入出料	623,379	312,875	560,859	310,504
12.委託料		出演者委託料、駐車場整理委託料、入場券販売委託料	23,300,654	14,867,623	23,251,629	8,433,031
13.使用料及び賃借料		音楽著作権使用料	283,641	93,895	181,493	189,746
						</

3. 一般財源等の額及び割合

一般財源等の額・・・②+③+④	27,877,727	17,809,296	27,460,968
事業費総額に占める一般財源等の割合・・・(②+③+④)/①	100.0%	100.0%	100.0%

4. 受益者あたりの事業費

受益者	朝来市民	単位	R7	R6	R5	R7-R6比較
区分	受益者数・・・⑤	人	27,056	27,526	28,022	▲ 470
	受益者あたりの事業費・・・①/⑤	円	1,030	647	980	383

5. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	R7	R6	R5	R4
自主文化事業開催回数	回	10	9	10	10
入場者数	人	3,065	2,746	3,735	3,634
≪変化の理由≫ 和田山ジュピターホールでは改修工事後に1事業、生野メインホール及びあさご・ささゆりホールでは9事業実施した。 入場者数は、収容人数が少ないホールでの事業が多かったが、ジュピターホールのリニューアルにより昨年度より増加した。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	R7	R6	R5	R4
市民アンケート問11 ホールで芸術鑑賞をした	%	18.7	21.0	23.9	14.0
≪変化の理由≫ 和田山ジュピターホールの改修工事により、ホールでの事業がメインホール・ささゆりホールになったため昨年度より減少となった。 施設規模の違いや同じ方の利用によるものと考えます。					

6. 今後の方向等

現在認識している課題	市広報紙、新聞折込、市ホームページ、ケーブルテレビでの告知、市内のポスター掲示、SNSを実施しているが、自主文化事業の開催についての周知が広がっていない。チラシを張り付ける『告知』にとどまっている。効率的な発信とその効果の最大化が課題である。
今後の方向、見通し、対応策等	一人でも多くの市民に関心を持ってもらえるような企画を検討していく。チラシの情報をそのまま掲載するのではなく、みどころのアピールやおすすめするポイントを発信し、告知効果を高める。

7. 一次評価

評価	評価理由
☐ 拡充 ☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小・段階的廃止 ☐ 廃止	自主文化事業は、様々な年齢層や趣向に合わせた取り組みを行っており、ジュピターホールが改修されたこともあり、今後も継続して催しを提供していきたい。

8. 外部評価

評価	評価理由
☐ 拡充 ☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小・段階的廃止 ☐ 廃止	

9. 二次評価

評価	評価理由
☐ 拡充 ☐ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小・段階的廃止 ☐ 廃止	

4. 受益者あたりの事業費

受益者	あこか利用によるアコバス・あさGOの乗車人数	単位	R7	R6	R5	R7-R6比較
区分	受益者数・・・⑤	人	19,596	14,423	9,305	5,173
	受益者あたりの事業費・・・①/⑤	円	820	1,420	3,605	▲ 599

5. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	R7	R6	R5	R4
高齢者等優待乗車カード「あこか」販売数	人	870	793	928	976
≪変化の理由≫ R6年度は生野エリア、朝来エリアで路線バス、アコバスの路線廃止とあさGOの導入があった。あさGO導入当初は年間バスである「あこか」の購入を保留し、回数券等であさGOを利用される方が一定数あったと推測される。一方で、R7年度にあさGOの全市域で運行を開始するとともに、特に和田山・山東エリアであさGO用のあこかの購入が増加した。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	R7	R6	R5	R4
あこか利用によるアコバス・あさGOの乗車人数	人	19,596	14,423	9,305	10,360
≪変化の理由≫ あさGOの全市域での運行開始と市民への浸透に伴い、あこか利用によるあさGO乗車人数が増加したと推測される。					

6. 今後の方向等

現在認識している課題	あさGOの全市域での運行開始と路線バスの再編が完了した中で、今回の再編が市民の生活利便性の維持・向上につながるよう、関係主体間の調整や市民の意識醸成を図る必要がある。
今後の方向、見通し、対応策等	- 市内の関係主体間の調整に加えて、但馬地域公共交通活性化協議会を通じ、近隣自治体等と連携しながら広域的な観点も踏まえた公共交通体系の維持・改善を図る。 - 公共交通ワークショップ等を通じて、公共交通はみんなで守るものという市民意識の醸成に継続的に取り組む。

7. 一次評価

評価	評価理由
○ 拡充	あさGOを含む新たな交通体系の維持・改善に向けて、広域的な観点も踏まえた調整、地域住民の公共交通利用に関する意識醸成を継続的に図る必要がある。
○ 継続	
改善	
縮小・段階的廃止	
廃止	

8. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続	
改善	
縮小・段階的廃止	
廃止	

9. 二次評価

評価	評価理由
拡充	
継続	
改善	
縮小・段階的廃止	
廃止	